

# なんケア通信

第40回 南部圏域の地域包括ケアを考える会(なんケアの会)を開催しました。

開催日時：令和6年2月2日(金) 18:00~19:15

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」 2階 地域文化ホール

参加者：39名(介護事業所関係者 17名、医療関係者 14名  
地域包括支援センター 5名、福祉用具専門相談員 3名)

## 演題

## 『生活期のリハビリテーション』

### 1. 生活期のリハビリテーションの現状と課題

御野場病院 理事長 皆河崇志

### 2. 通所リハビリテーションの観点から

御野場病院 通所リハビリテーション 理学療法士 青沼友美子

### 3. 訪問リハビリテーションの観点から

御野場病院 訪問リハビリテーション 理学療法士 橘啓明

生活期リハビリの現状・課題について、それぞれの視点からお話しさせていただきました。

高齢化が進む秋田では、自立した日常生活を支援する生活期リハビリがさらに重要となってきます。

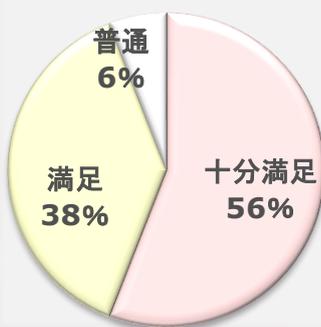
今回通所リハビリや訪問リハビリ、地域包括ケア病棟でのリハビリなど、地域のリハビリ資源を早期から積極的に活用することの大切さについてお伝えしました。

ひとりでも多くの要支援・要介護者が自分らしい生活を送ることができるように、最善のケアへつながることを期待します。

## アンケート結果

回収率：87.1%(アンケート配布：39名、回収：34名)

なんケアの会に参加して  
いかがでしたか？



今後、地域での活動に  
活かすことができそうですか？



## 会場の様子



## 皆様からの ご意見・ご感想

生活期のリハビリテーションが生活し続ける上で大変重要であることを改めて感じる事が出来ました。介護職が勝手にあきらめてはいけないと切に思いました。

(介護支援事業所関係者)

秋田のリハビリの現状を知る良い機会となりました。

高齢者と関わる中で、利用する意思を確認して、そこで満足してしまうのではなく、変化に気づき、ステップアップのチャンスを見逃さないようにと思います。

(地域包括支援センター)

「退院がゴールでない」その通りですね。生活の中でのリハビリを積極的に考える必要がありますね！！

(介護支援事業所関係者)

生活の中で出来ることを一緒に考えながら行いたいと思いました。生活場面の中でのリハビリが大切だと感じました。NHKの体操をうまく利用したいと思います。

(介護支援事業所関係者)

## 次回開催の お知らせ

開催日時：令和6年4月5日(金) 18:00~19:15

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」